

神戸学院大学の キャリア支援の取り組み

●神戸学院大学



神戸学院大学 キャリアセンター
キャリア支援グループ グループ長
生田 哲朗



1912年（明治45年）神戸市兵庫区に設立された「私立森裁縫女学校」を前身に、「学校法人神戸学院」は今年創立100周年を迎えました。歴史が未来を創る、先人が築いた100年を糧に「成長・飛躍」の未来を目指しています。

現在は法学、経済、経営、人文、栄養、薬学、総合リハビリテーションの7学部、8大学院、学生数一万人超、3キャンパスを擁する総合大学です。

「真理愛好・個性尊重」を建学の精神として、元気な大学を教職員・学生・保護者が連携して実現しており、地元企業を中心に、多くの人材を輩出しています。

学生のキャリア支援は本学の重点項目として、全学協体制のもとでキャリアセンターが中心になって推進をしています。

■3、4年次の就職支援

本学の就職支援プログラムは、3年次の5月に開催する就活の準備会からスタートします。年間5回の就職ガイダンスをベースメーカーとして、必要な時期に必要な事項を具体的なツールを示しながら説明します。

就活に必要な履歴書・ES対策や面接対策スキル等セミナーは、10月以降毎週開催し、11月末までに一応の仕上げを目指します。特に面接やグループ討議模擬演習を3ステップで行い、実践力を高めています。

また企業との接点を重視して、業界研究や同窓会を活用した企業人との就職相談会、3年次の12月から継続して複数回の学内合同説明会や個別面談会を開催しています。学内合同説明会は単独で開催するものだけでなく、他大学や関係機関と連携して開催し、学生と企業の接点強化を行っています。

本学のキャリア支援では、就活に必要なスキル習得だけでなく、自らの未来は自分で創りだせるキャリアコンピテンシー・志の養成を目指しています。

■自主、チャレンジをベースとした新たな取り組み

昨年12月から当時の3年次生を対象に、業界・地域の優良企業を目指し、本学の就活をリードする学生を養成する「就活塾」を開講しました。入塾には、応募者を対象に筆記試験とエントリーシート、及び面接で選考を行います。Feedbackのグループ機能を活用して、塾内の情報共有を積極的に進め、メンバー相互に支え合い、啓発する場を創り上げました。各種講座でのスキルアップだけでなく、就活をともに戦い、成果を喜び合い、苦しいときにも支え合う仲間ができたことも大きな効果を及ぼしたようです。

今年9月末には、この就活塾一期生が中心となって、多くの内定した4年生を集め、3年次生に向けた体験談・就活相談を行う会「繋ぐプロジェクト」が開催されました。

■キャリア教育（就業力講座）の開設

「夢」をもって入学する学生が、その「夢」・自分のキャリアを実現していくためには、大学生活を充実させ、多くの豊かな経験の中から学び、成長していくことが何より重要です。そのため、キャリアデザインに関する基礎知識の習得とともに、大学生活を通じて多くの出来事を引き寄せ、いかに成長していくかを学ぶ就業力講座を、全学共通教育科目として年次ごとに体系化しました。

1・2年生の就業力講座では、キャリアデザインに関する基礎知識や考え方を講義や体験学習を通じて学びます。3年次には、業種の異なる複数の企業から提示いただいた実際の企業課題を、参加学生が自ら情報収集、ディスカッション、報告書作成、プレゼン等、一連の活動を通して解決策を提案する就業力講座を開設しています。

この講座は今年度からスタートしましたが、多くの学生が熱心に楽しんで、また時には厳しいディスカッションを行っている姿が印象的でした。受講満足度も高く、これから就職活動に向かう3年次生にとって、社会そのものや社会人に求められる能力を理解することも良い機会になったと思われまふ。学生には大学生活を通じて多くの学びを得てもらいたいと考えています。